

2021年10月20日
日本銀行福岡支店



Bank of Japan Fukuoka Branch

九州・沖縄の金融経済概況

(2021年10月)

当資料は当店ホームページに掲載しています <https://www3.boj.or.jp/fukuoka/>

<内容に関するお問い合わせ先> 日本銀行福岡支店営業課 Tel : 092-725-5513



1. 総論

○ 九州・沖縄の景気は、持ち直しのペースが鈍化している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、下押し圧力が強い状態にある中、持ち直しの動きが一服している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。住宅投資は、持ち直しの動きがみられている。輸出は、足踏み状態となっている。

こうした中で、生産は、足踏み状態となっている。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

9月短観における企業の業況感は、横ばいで推移している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や供給面の制約が、当地の経済金融情勢に与える影響等に留意する必要がある。

<景気判断の前回との比較>

項目		基調判断	
		前回	今回
景気全体		持ち直しのペースが鈍化している。	持ち直しのペースが鈍化している。
需要項目	個人消費	下押し圧力が強い状態にある中、持ち直しの動きが一服している。	下押し圧力が強い状態にある中、持ち直しの動きが一服している。
	住宅投資	持ち直しの動きがみられている。	持ち直しの動きがみられている。
	公共投資	高水準で推移している。	高水準で推移している。
	設備投資	一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。	一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。
	輸出	足踏み状態となっている。	足踏み状態となっている。
生産		足踏み状態となっている。	足踏み状態となっている。
雇用・所得		労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。	労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

2. 個人消費

- 個人消費は、下押し圧力が強い状態にある中、持ち直しの動きが一服している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店売上高	弱めの動きとなっている。
	スーパー売上高	持ち直している。
	コンビニエンスストア売上高	持ち直しつつある。
耐久消費財	家電販売	堅調に推移している。
	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)	供給制約の影響から、減少している。
サービス	旅行・観光	当地発の旅行取扱額は、国内外ともに大幅に減少した状況が続いている。この間、観光面も、厳しい状況が続いている。

3. 住宅投資

- 住宅投資は、持ち直しの動きがみられている。

8月の新設住宅着工戸数は、分譲の増加を主因に前年を上回った。

4. 公共投資

- 公共投資は、高水準で推移している。

9月の公共工事請負金額は、国発注分の増加を主因に前年を上回った。

5. 設備投資

- 設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。

9月短観（九州・沖縄地区）における2021年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る計画となっている。

8月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を下回った。

6. 輸出

- 輸出は、足踏み状態となっている。
8月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7. 生産

- 生産（鉱工業生産）は、足踏み状態となっている。

▽主要業種の生産動向

輸 送 機 械	自動車は、部品の供給制約の影響により、大幅に減少している。船舶は、受注残の減少により、生産水準が低位で推移している。
電子部品・デバイス	高水準で推移している。
汎用・生産用 ・業務用機械	半導体関連向けを中心に増加している。
化 学	低調に推移している。
鉄鋼・非鉄金属	持ち直している。
食 料 品	弱含んで推移している。

8. 雇用・所得

- 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。
労働需給をみると、有効求人倍率は横ばい圏内で推移している。
7月の雇用者所得総額は、現金給与総額の増加を主因に前年を上回った。

9. 物価

- 8月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を下回った（8月：▲0.2%）。

10. 金融

- 8月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った。
- 8月の貸出残高をみると、法人向けや個人向けを中心に前年を上回った。
- 9月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を下回った。

以 上